

手帳はスケジュールを 「埋めないため」に使いなさい！

超一流の手帳の使い方を見ていると、スケジュールやタスクで埋めることで満足していた私とは違い、超一流はスケジュールを埋めないために使っていることがわかってきました。

なぜ、彼らがスケジュールを埋めないために手帳を使っているかというと、**手帳が未来への投資となる時間を生み出すためのツールだからです。**

超一流ほど、じつは未来への投資の時間配分が多いと言えます。

みなさんは家計簿をつけたことはあるでしょうか。お金で考えてみれば当然で、入ってくるお金をすべて使い切っていたら、いつまで経っても貯金すらできません。貯金しようと思ったら、まず使わない分を決めて、それを除けておきます。

さらに、その貯金がある程度貯まり、余裕資金ができたところで投資に回します。すると、運用されたお金にリターンがつくわけです。

時間に置き換えると、使える時間をすべてアポイントやタスクで埋めていくのは、まさに、お給料すべてを使い切っている計画性のない人ということになります。

過去の私のように、先々のアポまで埋めてしまうのは、翌月分のお給料までアテにして、どんどん目先のものに使ってしまうのと同じですから、投資の余裕などどこにも生まれないのは当然です。

時間も同じだと思えば、手帳は単にキャッシュの出入りを記録する出納帳ではなく、**計画性を持って扱う事業計画書のようなもの**だと気づきます。そう考えると、超一流の経営者が、時間の使い方が上手いには納得がいきます。

実際、今は仕事柄、経営者とお会いすることがほとんどですが、時間の使い方を聞くと、上手くいつている経営者ほど「やらないことを決めて、自分の時間をつくるようにしている」とか「週に1日は、アポイントをまったく入れない日をつく